

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第36号

第36週(9月1日~9月7日)

発行年月日:平成15年(2003年) 9月12日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類~4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (36週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (36週)	全国 (36週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	312	6	693
	パラチフス	0	0	22	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1785	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	343	6	453
	エキノкокクス症	0	0	14	1	9
	オウム病	0	1	30	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	516	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	77	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	42	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	6	595	6	888
	ツツガムシ病	0	1	135	0	329
	梅毒	0	1	334	4	561
	破傷風	0	1	45	0	105
レジオネラ症	0	1	99	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

\* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.78	2.00	6.83	0	0.40	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.47	0.14	0.83	0.25	0.60	0	0	2.50	
感染性胃腸炎	1.53	4.71	2.50	0	0	0.25	0	0	
水痘	0.25	0.29	0.50	0	0	0.25	0.25	0.50	
手足口病	0.63	0	1.00	0	2.40	0.50	0	0	
伝染性紅斑	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発疹	1.19	2.29	1.50	0.25	0.20	1.25	1.00	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.78	2.57	0	0	0.20	0.50	0.75	0.50	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.41	0.29	0.67	0	0.40	0.50	0	1.50	
急性出血性結膜炎	0.29	0	1.00	0	0	1.00	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	1.00	0	0	1.00	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.57	0	0	2.00	0	1.00	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 0.5 1 1.5 2  
定点当たり患者数

### 3) 今週のトピックス

#### 咽頭結膜熱の発生は増加傾向持続

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、咽頭結膜熱、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発疹等の定点当たり患者数が増加しています。また、水痘、手足口病、ヘルパンギーナ等の定点当たり患者数は減少しています。

**咽頭結膜熱**については、第34週(8月18日～8月24日)から増加傾向を示しており、特に**草津保健所管内**の定点当たり患者数は第34週 4.50、第35週 5.67、第36週 6.83と多くなっています。また、全国における咽頭結膜熱患者の発生状況は、第29週をピークとし、その後は減少傾向となっています。

**A群溶連菌咽頭炎**については、**今津保健所管内**の定点当たり患者数が2.50と多くなっています。

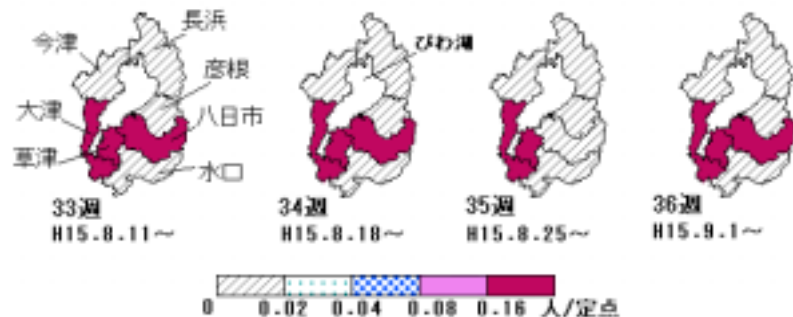
**感染性胃腸炎**については、**大津、草津保健所管内**の定点当たり患者数が多くなっており、それぞれ、4.71、2.50となっています。

**ヘルパンギーナ**については、定点当たり患者数は減少傾向を示していますが、**大津保健所管内**においては2.57となっています。

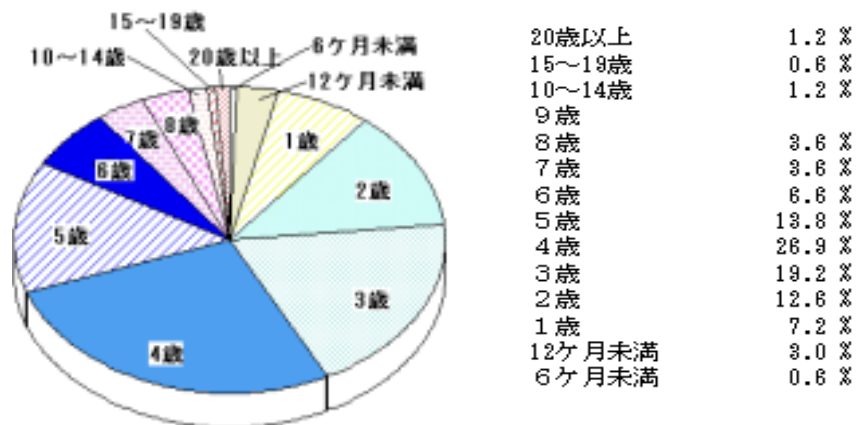
\* 咽頭結膜熱の保健所管内別・週別発生状況および年齢別発生状況は下記のグラフのとおりです。

#### 咽頭結膜熱の保健所管内別・週別発生状況

(平成15年第33週～第35週)



#### 咽頭結膜熱の年齢別発生状況 (平成15年第33週～第35週)



#### \* 咽頭結膜熱の感染症法および学校保健法における取り扱い

- iDWR2003年第5巻第14号 感染症の話(咽頭結膜熱)より -

##### 感染症法における取り扱い

咽頭結膜熱は4類感染症定点把握疾患であり、報告の基準は以下のとおりです。

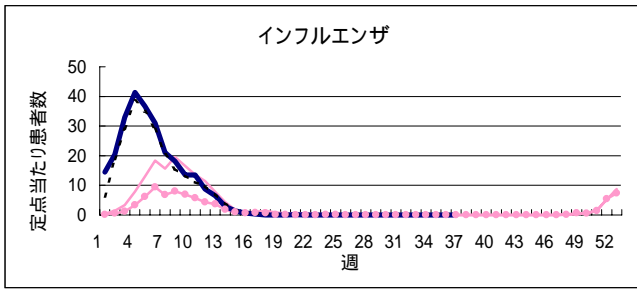
診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準のすべてを満たすもの  
 1. 発熱・咽頭発赤 2. 結膜充血

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

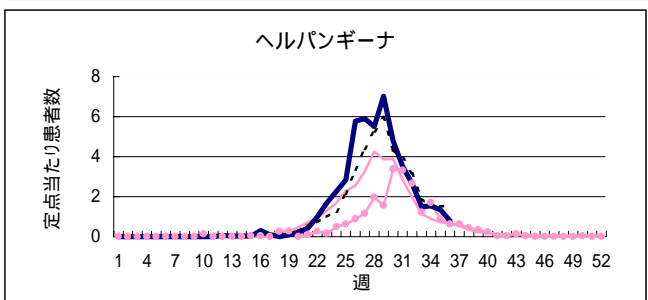
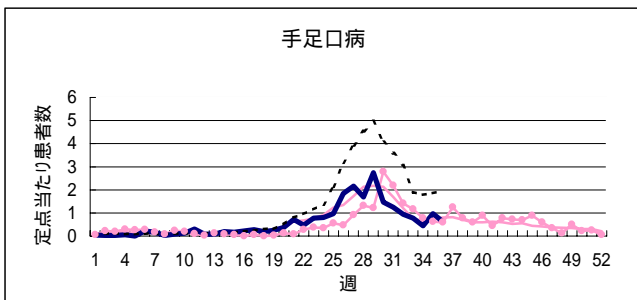
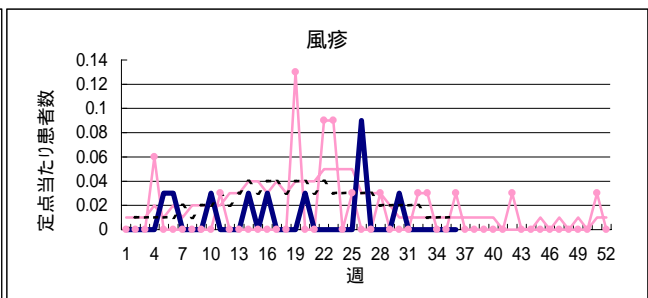
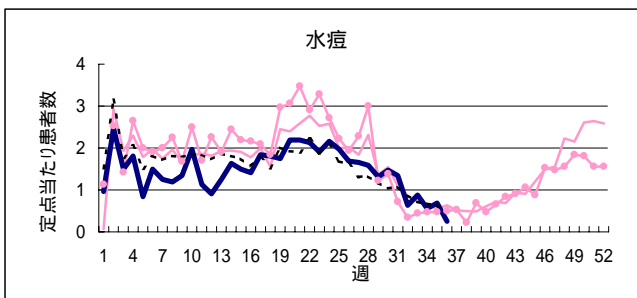
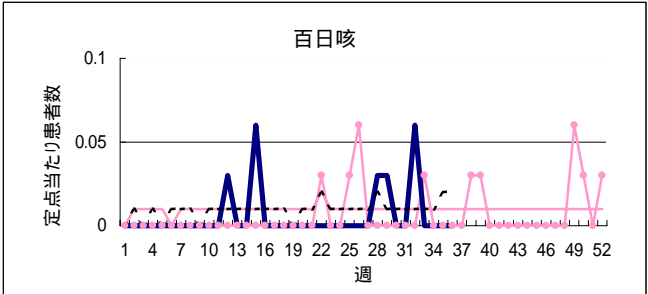
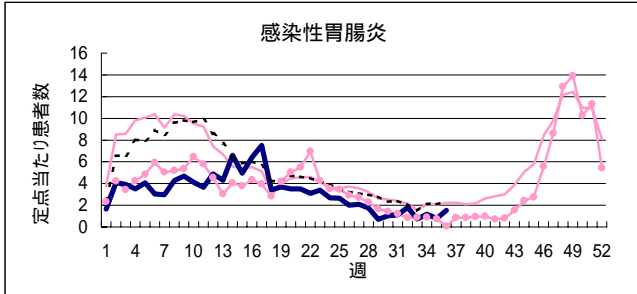
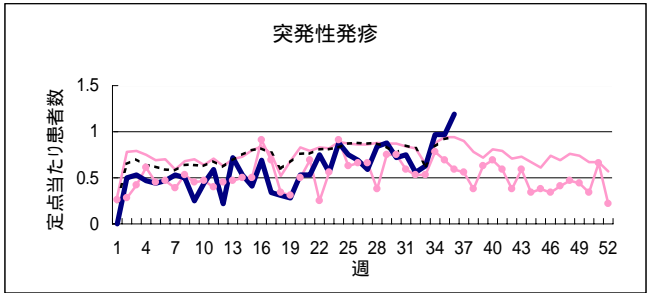
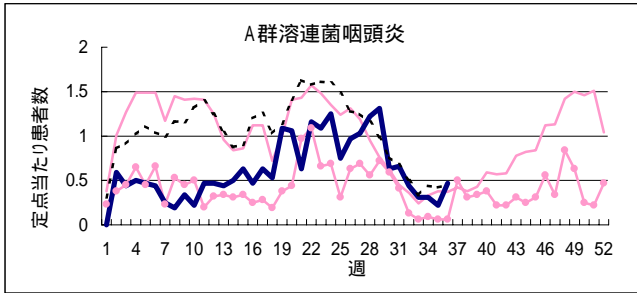
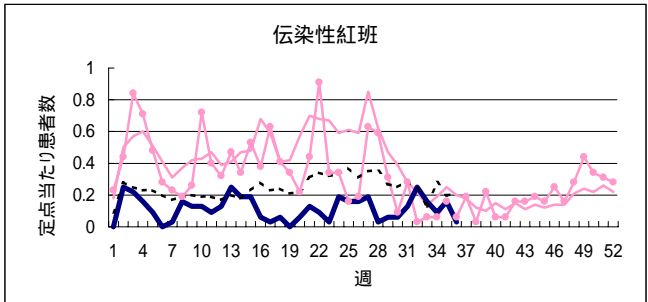
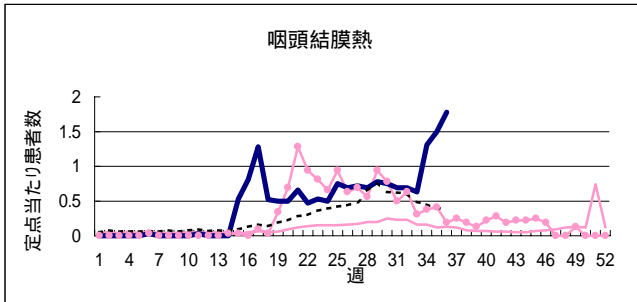
##### 学校保健法における取り扱い

学校保健法においては、第二種伝染病に位置づけられており、主な症状がなくなってから2日を経過するまでは出席停止とされています。しかし、病状により伝染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません。

# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第36週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)  
 全国 (light pink line)  
 H15 { 滋賀 (dark blue line)  
 全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第36週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●  
           全国 ○○○○○○  
           (Blue line for H14 data)

H15 〔 滋賀 ●●●●●●  
           全国 ○○○○○○  
           (Black dotted line for H15 data)

